

魅力的な滋賀県東近江市

富有魅力的滋贺县东近江市

文：东近江市 译：赵宏 郭子龙

滋賀県東近江市は日本列島の中央部に位置する、面積約388km²、人口約11万2千人のまちです。鈴鹿の山から琵琶湖まで東西に延びる市域を有し、市内には平地や丘陵地が広がります。鈴鹿の山から湧き出る清らかな水は大小さまざまな川などを通じて市域を潤し、緑豊かな園地帯を形成しています。豊かな自然に育まれた米や牛は「近江米」や「近江牛」と呼ばれ、日本国内でも多く消費されています。

滋贺县东近江市位于日本列岛的中部，面积约为388平方千米，人口约为11.2万。市区从铃鹿山延伸至琵琶湖，呈东西走向，多为平原和丘陵地形。发源于铃鹿山的溪流汇聚成大大小小的河流，这些河流滋养了城市，形成一片绿意盎然的田园风光。在丰饶的自然条件下，东近江市还培育出了在日本颇受欢迎的“近江米”“近江牛”。

にほんいさん 日本遺産をめぐる

びわことそのみずべけいかん 琵琶湖とその水辺景観

——いのちと暮らしの水遺産

地域で育まれてきた歴史や文化を発信するブランドの1つに、文化庁が定める「日本遺産」があり、滋賀県では「びわことそのみずべけいかん——いのちと暮らしの水遺産」が登録されています。

今回、その中に含まれる、東近江市内の3つの地域の魅力を皆様にご紹介します。

東近江市市内の日本遺産

琵琶湖及其湖滨景观

——祈愿与生活的水资源遗产

日本文化厅认定的“日本遗产”是宣传地方历史与文化的标志之一，其中就包括位于滋贺县的“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水资源遗产”。

本篇文章将为各位读者朋友介绍东近江市市内属于日本遗产的三个富有魅力的景点。



五個庄金堂の町並み

市内を流れる「愛知川」から地域内を巡る水路に澄んだ水が流れ、暮らしの中で利用されてきました。集落を巡った水は周辺の水田を潤し、湖東地域特有の農村風景を生み出しています。川の中に祀られたお地蔵さまにはいつも花が供えられ、水に対する住民の感謝の気持ちを見ることができます。

五个庄金堂街区

流经市内的爱知川の河水通过遍布市内的水路为市民提供了清洁的生活用水。流淌在村落周围的涓涓河水滋养着附近的水田，孕育出湖东地区独特的乡村风光。被供奉在溪流中的地藏菩萨前总是摆放着鲜花，由此可见当地居民对于水的感激之情。



また、江戸時代から近代にかけて、近代日本経済の基礎を築いた「近江商人」と呼ばれる商人が全国各地で活躍しました。近江商人は「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」という、今のSDGsにも共通する商人の精神を説いたことでも有名です。

此外，从江戸时代至近代，构建起近代日本经济基础的“近江商人”一直活跃在日本各地。近江商人以其秉承的“三方皆好（做生意时让卖方、买方和社会皆得利）”的经营理念而闻名，该理念与当今的联合国可持续发展目标有着异曲同工之妙。



近江商人発祥の地の一つである五个庄金堂地区では、現在も商人たちの本宅と伝統的な農家住宅が調和のとれた美しい町並みをつくり出しており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。白壁に舟板塀（舟板を利用して作った塀で、舟として利用されていたときの釘跡などを見ることができます）の情緒ある町並みが特徴で、五个庄近江商人の本宅は中を見学することができるものがあるほか、宿泊できるように改装したものもあります。

五个庄金堂街区是近江商人的发祥地之一，至今仍呈现出一派商人住宅与传统农家住宅相映成趣的优美城镇风光，该街区已经被选定为日本的重要传统建筑群保护地区。由白墙加船板围墙（用船板制作的围墙，甚至可以看到这些木板上留有作为船板使用时的钉痕）构成的颇具情调的街区很有特色，游客不仅可以参观五个庄近江商人的主宅，还可以在改造装修后的住宅中留宿。

現在、町並みの水路には錦鯉が優雅に泳いでおり、風情のあるまち歩きを楽しむことができます。

如今，锦鲤优雅地游弋在水渠内，游客可以尽情地在这片充满情调的街区中散心。

また、^{ごかしやうこんどうちく ちゆうしん ふぜい まちな}五個庄金堂地区を中心に風情ある町並みを
活かしたイベントが行われています。2024年9
月29日（毎年9月の最終日曜日開催）には「ぶ
らっと五個庄まちあるき」が開催され、^{ごかしやう かいさい}五個庄の近江
^{しょうにん かつやく えどこうき たいしょうじだい いふく}商人が活躍した江戸後期から大正時代の衣服に
身を包んだ近江商人時代絵巻行列が行われます。ま
た、^{つうじやうこうかい}通常公開されている施設に加えて、^{しせつ くわ ふだん ひこう}普段は非公
開の^{ごかしやうおうみしょうにん きゆうたく じしやぶつかく}五個庄近江商人の旧宅や寺社仏閣などで家宝や
^{てんじこうかん}家宝を展示公開する「ぶらりまちかど美術館・博物
館」も同時開催され、^{ごかしやう かいさい}町全体が美術館・博物館と
なってパンフレットを片手に散策を楽しむことができ
ます。ステージでは^{たいこ えんそう}太鼓の演奏や^{しやうどう}書道パフォーマンス
などのほか、^{じもとさんびん こうにゆう ろてん}地元産品を購入できる露店なども予定さ
れています。

而且，相关部门正致力于在以五个庄金堂地区为中心的
风情街区举办一系列活动。2024年9月29日（每年9月最后一个周日）将举办名为“五个庄之行”的活动，届时街区将上演巡游表演，工作人员会身着在日本江户后期至大正时期的不同年代下活跃于商界的近江商人的服饰，为游客奉上一幅近江商人的时代变迁画卷。同时，这里还会举办“巷口美术馆・博物馆之行”活动，除常规开放的景点外，平时不对外开放的五个庄江户商人旧居和寺庙、神社的佛阁内也会展出各自的传家宝和寺藏宝物等。届时，整座城镇都会变成美术馆、博物馆，游客可以手持宣传册，悠闲地在这里散步。除了在舞台上进行的大鼓演奏和书法表演外，活动预计还会设置露天摊位，以销售当地特产。



はる（2月中旬～3月中旬）に開催される五ヶ庄
近江商人屋敷を中心とした「商家に伝わるひな人形
めぐり」というイベントでは、商家に伝わる歴史ある
ひな人形や、地元人形師によるひな人形など様々な
種類のひな人形の展示が行われます。まちかども陶
器で作った手作りのひな人形が飾られるなど、町並み
の散策も楽しむことができます。

每年春季（2月中旬至3月中旬），以五个庄近江商
人住宅为场地举办的“商人家庭世代相传的人偶巡游”
活动将展示商人家庭世代相传、历史悠久的人偶，以及
当地人偶师制作的人偶等。当地居民也会在巷口挂上用
陶器制作的纯手工入偶等，游客漫步于街区时可以赏玩
一番。



伊庭の水辺景観

東近江市伊庭町は湖東平野に残る水郷集落の1つ
です。かつて織山に端を築いた伊庭川が集落の中心
を流れ、そこから張り巡らされた水路を通じて人々が
行きかい、内湖周辺地域の拠点集落として賑わいま
した。

伊庭町の湖边景观

东近江市伊庭町是湖东平原上现存的水乡聚落之
一。曾经，发源于伞山的伊庭川流经村落为中心地区，
人们通过密布的水路往来于各地，此地作为内湖周边地
区的枢纽繁荣一时。

町内には、伊庭川から引いた水路が縦横に巡り豊富な水量と清らかな水質を見ることができます。家々に設けられた「カワト」（水路に通じる階段で、洗濯や風呂水、舟の係留に使用されていました）が多く残されており、水とのかかわりは今も息づいています。

5月、伊庭まつりの中で行われる「坂下し」は、織山から神様を神輿に乗せ、里を経て湖に迎える神事です。山頂の社からふもとの大鳥居注まで約500m、標高差170mの急斜面には、途中に大岩などの難所があり、ここから神輿を引きおろすという、迫力のあるお祭りです。



永源寺と奥永源寺の山村景観

紅葉の名所として知られる永源寺は1361年に開山されました。ここには県指定文化財の山門や国内屈指の大きさがある葦葺屋根の方丈（本堂）があります。11月中旬～下旬の紅葉のシーズンには数多くの来場者で賑わうほか、夜間はライトアップによって、歴史ある境内が紅葉に彩られます。

注：鳥居，鳥居，是神社等的入口，建筑形式类似于牌坊。

在伊庭町内，从伊庭川引来的水流通往四面八方，水量充足，清澈见底。沿岸的居民在自家门口开凿出的“川渡”（通往水渠的台阶，居民可以在此洗衣服、盛洗澡水、泊船）多被保留下来。时至今日，这里的人们依旧维系着与水的亲密关系。

5月，在伊庭举办的传统节日中有一个叫作“下坡”的祭神仪式，该仪式是将神从伞山请到神轿上抬出，人们抬着神轿经过村落，并将神供奉到湖中。从山顶的神社到山麓的大鸟居是一段长约500米、高度差达170米的陡峭斜坡，途中更有大岩石等难以通行的地方。从如此艰险的路况中抬下神轿，足以显示该仪式的震撼力。



永源寺和奥永源寺的山村景観

永源寺建于1361年，是观赏红叶的著名景点。该寺的山门是滋贺县指定的文化遗产，而其方丈（正殿）的茅草屋顶之大在日本更是屈指可数。11月中旬至11月下旬是观赏红叶的时节，此时来到这里的游客络绎不绝。此外，夜间还有灯光照明，历史底蕴深厚的寺院在红叶的映衬下，美轮美奂。



ひがしおうみし さんかんぶ いち おくえいげんじ ちいき びわ
 東近江市の山間部に位置する奥永源寺地域は、琵琶
 こ そぞ えちがわ げんりゅういき こうだい のうちめんせき
 湖に注ぐ愛知川の源流域であり、広大な農地面積を
 ゆう ひがしおうみし すいげん おくえいげんじ ちいき まん
 有する東近江市の水源地です。奥永源寺地域には、「政
 どころちや」というきちやう ちやのき つく
 所茶」という貴重な茶樹から作られるお茶がありま
 す。政所茶は「宇治は茶所、茶は政所」注という歌詞
 まんどころちや うじ ちやどころ ちや まんどころ か し
 で茶摘み唄の中でも歌われ、朝廷や彦根藩にも献上さ
 ちやつ うた なか うた ちやうてい ひこねはん けんじよう
 れた銘茶です。日本で最初にお茶の木が育てられたの
 めいちや ほん さいしょ ちやのき そだ
 が滋賀県だったと伝えられており、樹齡 300 年の茶樹
 し げん つた じゆれい ねん ちやのき
 は県指定自然記念物に指定されています。

奥永源寺地区位于东近江市的山间，这里是注入琵琶湖的爱知川的源头，也是拥有广大农田面积的东近江市的水源地。奥永源寺地区出产一种名为“政所茶”的茶叶，该茶叶是从名贵的茶树上采摘下来的。在采茶歌中就有歌词“宇治产茶，茶中生政”，该茶叶曾被作为高级茶叶供奉给朝廷和彦根藩。据说，滋贺县是日本最早培育茶树的地区，树龄达300年的茶树会被滋贺县认定为县指定自然纪念物。

注：“宇治は茶所、茶は政所”，“宇治产茶，茶中生政”，这句歌词的意思大致是“宇治是茶叶的产地，而茶叶是政治的中心”，强调茶叶在政治谈判等场合中具有重要的作用。

また、奥永源寺地域には、ろくろと呼ばれる工具で、とち・ぶな・けやきなどから主に椀や盆などの木地をつくる木地師と呼ばれる職人がいます。木地師の多くは日本各地に良木を求めて新しい山に移住する暮らしを送っており、奥永源寺地域は木地師のふる里として知られています。

此外，在奥永源寺地区被称为“木纹师”的专业工匠会使用一种名为轆轤的工具，以栎树、毛榉树、光叶榉树等树木为原材料，制作木碗、木盆等物品上的木纹。很多木纹师为了在日本各地寻求优良的木材而移居到其他山区，而奥永源寺作为木纹师行业的发源地享有盛名。



交通アクセス

交通路线

航空

北京首都国際空港～中部国際空港 片道約3時間
 北京首都国際空港～関西空港 片道約2時間45分
 上海浦東国際空港～中部国際空港 片道約2時間25分
 上海浦東国際空港～関西空港 片道約2時間15分

航空

北京首都国際機場至中部國際機場 單程約3小時
 北京首都國際機場至關西機場 單程約2小時45分鐘
 上海浦東國際機場至中部國際機場 單程約2小時25分鐘
 上海浦東國際機場至關西機場 單程約2小時15分鐘

陸路

中部国際空港～JR能登川駅 電車で約2時間
 関西空港～JR能登川駅 電車で約2時間30分

陸路

中部國際機場至JR能登川車站 乘坐電車約2小時
 關西機場至JR能登川車站 乘坐電車約2小時30分鐘

制作協力：日本国自治体国際化協会北京事務所 (CLAIR, Beijing)
 本文協働単位：日本国自治体国際化協会北京事務所 (CLAIR, Beijing)